

◆スタッフあいさつ◆



木村 聡

私が田舎時間に初めて参加したのは2005年11月。穴水での第11回の田舎体験活動でした。誘われるままに上野駅に向かい、寝台列車で能登へ。そこに待ち受けていたのは穏やかな海と高い空、そして心温かい穴水の皆さんでした。牡蠣の養殖準備作業をお手伝いさせていただきましたが、作業に没頭し、心地よい疲れを味わったように記憶しています。

あれから4年の歳月を経て、穴水での田舎体験活動は、皆様のご支援を賜りながら、昨年12月で42回目を迎え、上山と合わせて100回を超えました。誠にありがとうございます。これからさらに5年、10年と、魅力ある活動を続けていくためには、新たなスタッフの加入も不可欠です。あなたもスタッフと一緒に田舎時間を盛り上げていきませんか？

◆田舎体験事業報告◆

2009年後半の田舎体験活動も、農作業体験や地域の行事への参加など、盛りだくさんでした。今年も楽しい企画を検討していますので、皆さん是非ご参加ください！

<2009年7月～12月 活動記録>

- 7/18～7/20 長谷部祭り（穴水）
- 8/8～8/9 ブドウの笠かけ&萱滝（上山）
- 8/29～8/30 ハザ建て（穴水）
- 9/18～9/21 稲刈り（穴水）
- 9/21～9/23 キリコ祭り（穴水）
- 12/5～12/6 牡蠣の養殖準備（穴水）

*このほか、個別に現地を訪れている方もいらっしゃいます。



稲刈り in あなみす

今年も穴水町岩車の河端さんの田んぼで稲刈りのお手伝いをしてきました。稲刈りは、田舎時間の体験メニューの中でも体力的にきつく、裏を返せば達成感のある作業の1つです。参加者は男女4人ずつの計8名。3日間の日程でした。久しぶりに金曜日の夜から寝台列車で能登に向かい、2日間稲刈りとハザ架けを行いました。参加者は汗を拭き拭き稲刈りを体験し、一面また一面と田んぼがスッキリしていく爽快感を味わっていました。

お天気にも恵まれ、また参加者のテキパキとした作業の結果2日間で稲刈りが終わったので、3日目は新田さんに奥能登を案内していただきました。ロンドン出身の漆作家スザン・ロスさんのお宅を訪問したり、800年の歴史を今に伝える時国家(ときくにけ)住宅を観光したり、奥能登の魅力を感じることができました。

(木村聡)



ブドウの笠かけ&萱滝 in かみのやま

1日目は3班に分かれ、秋葉さん、吉田さん、漆さんのところにお邪魔してブドウの笠かけなど。2日目は、今年もやってきました！サイクリング+沢登り+萱滝ダイブコース。もう5回目ぐらいになりますが、これをやらないと夏が終わらない気がして。サイクリングは駅から出発し、遠くに蔵王山脈を眺めつつ、田んぼの中をのんびりこいでいきますが、途中からきつい上りに。宿を出発して3時間くらい経って「やっぱり来なきゃ良かった」と参加者が思い始めた頃に、小さな橋の脇から降りて沢登りスタート。沢登りコースは、古屋敷村に住んでいた75歳の方に伺ったもので、昔は子供はみんなここから滝に上り、泳いで



遊んだのだとか。今年も怪我がなくて良かったとホッとする、サバイバルな沢登りで、みんなで助け合わないと乗り越えられない難所もクリア。最後は深さ3mぐらいの滝にダイブ！（貴山敬）

「秋の収穫祭 2009」のご報告

2009年も、恒例の「秋の収穫祭」@表参道を10月24日(土)に開催しました。穴水町から、いつもお世話になっている新田さんご参加くださり、総勢30名ほどが集まりました。

食材は、穴水町から地元のブリ、サザエ、ふぐ、イカ、八目(メバル)の炭火焼き、河端さんのコシヒカリ、シイタケ(いずれも田舎時間でお手伝いしたもの)、能登の雉(キジ)肉を使ったキジ鍋、上山市からは、吉田果樹園、秋葉果樹園のぶどう各種(田舎時間も一部お手伝いしたもの)など、今年もたくさんの田舎時間に縁の深い食材を堪能しました。冬の気配を感じる天気です少し肌寒かったですが、炭焼き用のコンロがちょうど暖炉代わりになって、みんなで炭火を囲みながら贅沢な時間を過ごしました。(真野秀太)



◆自主ゼミ「デジハリ田舎実験室」公開勉強会◆

田舎時間の活動は、ラジオ、新聞、雑誌・書籍等で度々ご紹介いただいておりますが、今年は年始早々、代表の貴山敬が、デジタルハリウッド大学院の自主ゼミ「デジハリ田舎実験室」で公開勉強会の講師を務めさせてさせていただきました。

2010年1月16日(土)、秋葉原のデジタルハリウッド大学院に田舎体験旅行に興味のある総勢40名にお集まりいただき、田舎時間のいままでとこれからについて、代表の貴山と参加者の皆さんが対話をしました。

田舎時間がこだわってきた少人数制と、作られた体験メニューではない、田舎の日常の五感体験が、リピーター率4割につながっている理由であることをお話ししました。参加者の皆さんからもたくさんの質問を頂き、参加者側リーダー、受入側リーダー、受入農家の三者の協力体制がなければ田舎体験活動は実現しないことに気づきます。

参加者の皆さんには、対話の合間に、上山市の吉田果樹園のりんご、ラ・フランスジュースと、漆山さんの夢香姫(ゆめがき)、田舎時間副代表の井上が燻製にした穴水町の河端さんの牡蠣を堪能して頂き、大盛況でした。

田舎体験活動が8年間で100回を超えた田舎時間は、今までご参加くださった皆さんのおかげでこのような場でお話できる活動となりました。またここからの出会いによって、これからも新しい展開が生まれていくと思います。(中山誠基)



◇上山便り ~佐野 千鈴さん~

上山市は、クアオルトという新たな滞在型温泉保養地づくりを始めています。地形や気候を生かして蔵王坊平、西山、葉山を医科学的に検証された方法でのウォーキング、効果的な温泉入浴、そして、上山の資源を楽しんで健康になってもらおうというものです。

用意された観光施設では、滞在型には耐えられません。田舎時間初期の頃、貴山さんを上山の名所に連れて行った際、「興味が湧かない」と言われたことが思い出されます。

田舎時間の参加者が発見した里山、滝壺の楽しみ方、新鮮で安全な食べ物による体の浄化、無心になる地道な農作業によるストレス解消など、クアオルト事業に生かされることがたくさん。元々潜在していたものを掘りおこしてくれる田舎時間は、上山にとって大きな存在ですね。

リピーター率が4割にのぼるとか。上山でまた、お会いしましょう。待っています。

今年から、田舎時間をサポートして下さる「いなカエル会員」の皆さんにも、スタッフ打ち合わせ(定期開催)にご参加いただけるようにいたしました。今年も積極的に活動を展開していきたいと思っておりますので、皆さん奮ってご参加ください。今年もよろしくお願いたします!

